

平成 21 年度 事業計画（案）

人口減少社会を迎え、国では観光振興による地域活性化を図るため、観光庁を中心に、2020 年までに外国人客 2000 万人を目指したインバウンド対策や、宿泊数の増加、滞在型を目指して地域の魅力を高める観光圏の設定や広域観光の推進を図っています。岐阜県の「飛騨美濃じまん運動」では、平成 22 年度の「全国豊かな海づくり大会」、24 年度の清流国体に向けて「水」をテーマとした事業が予定されています。JR 東海では「Shupo」クーポン、「飛騨路キャンペーン」など地域を巻き込んだ誘客事業が計画され、今年は高山本線全通 75 年を迎えます。

こうした中で、多様化するニーズに応えるため、観光資源と人材を生かした商品開発、着地・提案型観光の企画、南飛騨健康保養地や岐阜の宝もの「小坂の滝めぐり」との連携などを進めます。併せて、各種媒体を活用したより効果的な宣伝やパブリシティによる情報発信をはじめ、各地での観光展、キャラバンなどによる誘致事業を展開し、こうした事業の一層の効果高めるため、上半期を目途に誘致会議を実施します。

26 年目を迎える「いでゆ夜市」や各種イベントの開催、市や関係団体の催事への協力、最近特に増えてきた街歩きや朝市などのニーズへも対応して、植樹、清掃活動など環境整備事業を定期的に行い、魅力ある観光地づくり、おもてなしの向上を図ってまいります。また研修事業としての「車上セミナー」や韓国儒城温泉、並びに日本三名泉との交流を図って参ります。

下呂市観光協会連絡協議会による当地へのモニターツアーでの観光資源の紹介、今年度から新設された下呂市名古屋事務所との連携などによる効果的な情報発信、誘客事業を進めてまいります。また、昨年度から続けている下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合との三者の連携を一層進めポータルサイトの充実、まち歩きのための方策を図ります。あわせて、今年度末に完成する交流会館「アクティブ」の利用した誘客や、温泉卓球をはじめスポーツコンベンションの支援にも努めてまいります。

観光による地域活性化はハード整備との両輪であり、道路網の整備が進む中で、アクセスの向上、河川整備、安全確保のための基盤整備などを関係機関へ働きかけてまいります。また、“ワイドビューひだ”の大阪直通便の増発に向けた要望などを進めます。

インバウンドでは、下呂市台湾事務所の効果的な運用、関係機関との連携を図り外国人誘客の招致事業や観光展への参加など、インバウンド事業も積極的に進めてまいります。

国による法人組織の見直しが求められており、移行に向けた本格的な検討を進め、あわせて懸案の会費、負担金の検討などを進め、一層の組織の充実と拡大を図ってまいります。

各種調査でも宿泊観光の目的のトップはやはり温泉です。温泉の恵み、先人たちへの感謝の心を忘れず、「環境、健康、観光」をキーワードに、1 次・2 次・3 次産業が連携した 6 次産業による地域の活性化を目指してまいります。

関係各位のご厚情と会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。